広報うちこ

UCHIKO 3

March 2018
vol.245

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

桜物語（サクラストーリー）

その花は、優しく笑う愛の花、
人々をつなぐ縁結びの花

―小田編―

ぼくの夢　わたしの夢

中居　明日香（あすか）さん　小田小学校６年（林慶）

保育士や助産師のような感動できる仕事をしたい

私の夢は保育士か助産師、どちらにするか迷っています。もともとは、保育園児のときの優しい先生に憧れて、自分も子どもたちに好かれる保育士になりたいと思いました。助産師の仕事を知ったのは６年生になってからです。授業参観に助産師さんが来て、仕事のことや命について話してくれました。陣痛に備えて、妊婦さんに寄り添って夜勤をする話など、体力が必要な仕事だと感じました。授業参観に来てくれた母は、私が生まれたときのことを話してくれました。家族みんなが喜んでくれたことを聞くと、命が誕生する瞬間に関われる助産師は、感動を味わうことができる仕事なのかなと思いました。

これまでずっと保育士になることが夢だったので、正直今の気持ちは半分半分です。保育士なら子どもたちに、助産師なら妊婦さんに頼ってもらえる存在になりたいです。

CONTENTS　目次　　UCHIKO vol.245　　広報うちこ2018年3月号

2　ぼくの夢 わたしの夢／目次

3　特集　桜物語 ――小田編――

10　まちのニュース　『広報うちこ』が県広報コンクールで特選／消防出初式　他

12　うちこ往来　ドラムタオ公演／環境子ども会議／

14　みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!!　他

18　図書館へ行こう

19　ゆうてぃあ　Vol.203

20　町からのお知らせ　新デマンドバス路線／消費生活相談員募集／軽自動車税　他

24　くらしの情報　うちこ福祉館講座／100円商店街／内子町リハビリ有志会　他

29　社協だより　Vol. 7

30　健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医

32　住人十色

COVER
―― 表紙の写真 ――

◉「相野の花」の所有者、竹﨑勇（いさむ）さんと一子（いちこ）さんの写真です。（撮影日、29年４月13日）

笑顔と桜が満開で、春が待ち遠しくなりますね。「相野の花」の見頃は３月下旬～４月上旬。見に来た人を包み込む桜の枝と、小さな池に映り込む美しい姿は、毎年多くの人々を魅了しています。特集では竹﨑さんの思いも掲載されていますので、ぜひ読んでみてください。

特集

桜物語（サクラストーリー）

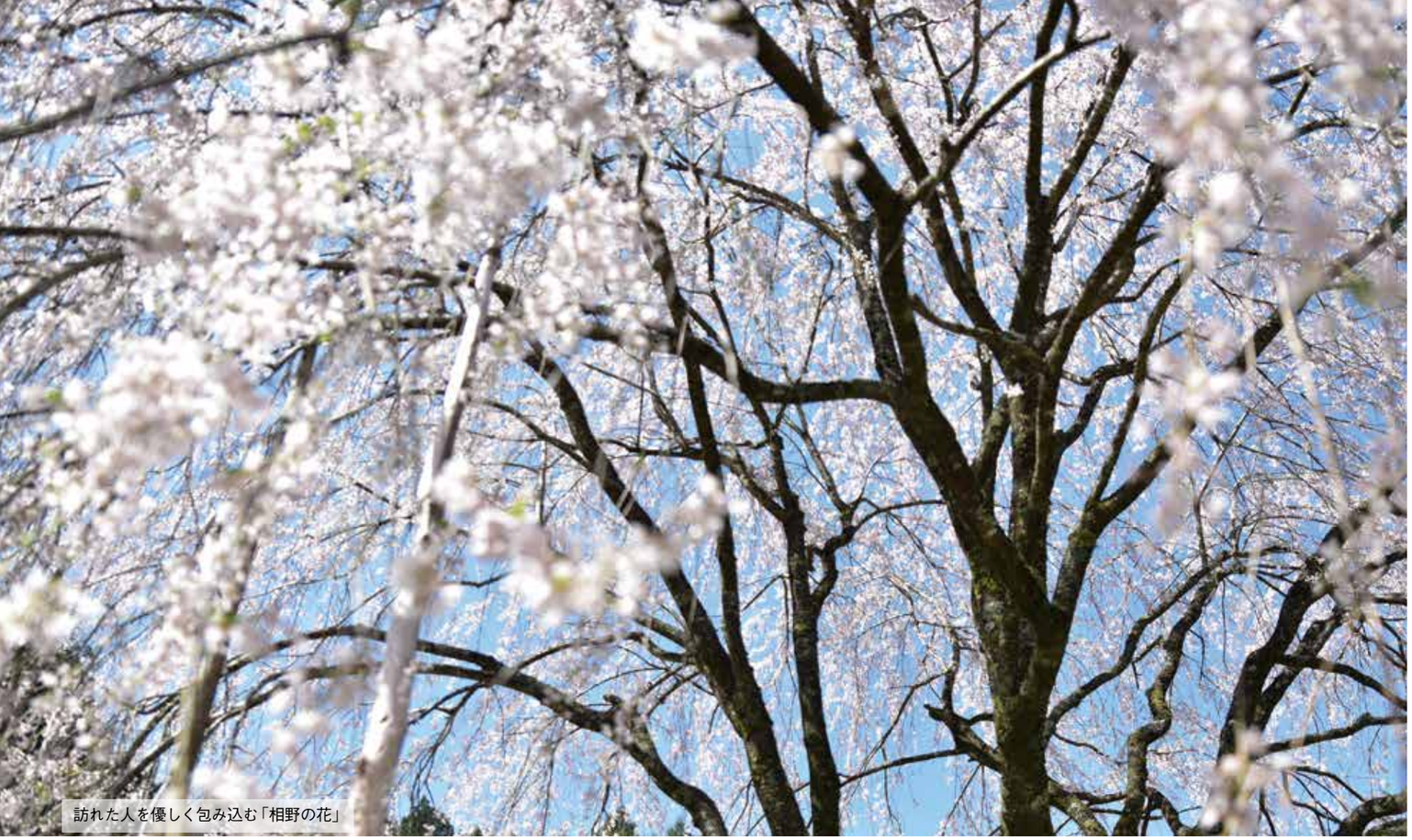
――小田編――

3月――。
桜のつぼみが膨らみ始め、
春はまだかと待ちわびる季節。
内子町にも名木といわれる桜が
町内の各地に点在し
無心に咲き誇る姿が、
訪れる多くの人を魅了します。
今回の特集は
小田地域の桜の風景と、
その桜に込められた
人々や地域の思いを紹介します。
出会いや別れ、さまざまな人生の節目を
優しく見守ってきた小田の桜――。
そこにはどんな物語があるのでしょうか。

桜物語
その1

竹﨑さん家の愛の花

勇さんが成人した頃、池の側に自ら植えた小さな苗木――。60年が過ぎ、その苗木は見事な桜に生長しました。「相野の花」と名付けられた桜は、ときに愛の花と呼ばれ、たくさんの人々を笑顔にしています。訪れた人を魅了する竹﨑さん夫妻と1本のしだれ桜の心温まる物語です。


訪れた人を優しく包み込む「相野の花」

二人の愛情に心惹かれて

旧竹﨑家の土間には、桜や竹﨑さん夫妻の写真、情景を詠んだ俳句などが壁を覆うように飾られています。全て、相野の花の美しさと竹﨑さん夫妻の人柄に、心惹かれた人たちからの贈り物です。勇さんは相野の花をいつでも楽しめるよう、訪れた人にこの場所を開放しています。「贈ってくれた人の思いを飾っとる」と勇さん。一子さんは「この辺りには他に家もないし、たくさん人が来て、声を掛けてくれると私らもうれしい。毎年来てくれる人の姿が見えないと、心配になる」と続けます。二人の言葉からは、桜に対してだけでなく、訪れた人たちへの愛情も伝わってきます。

「何か、二人が作ったものを記念に持ち帰りたい」。竹﨑夫妻の心に触れた花見客の言葉がきっかけで、桜の時期に餅などの販売を始めました。「私らも、誰かの役に立てていると感じる。作業を手伝ってくれる花見客もいるんですよ」と一子さんも花見ができるように、自分だけの桜がほしかった――」と話します。

「まさか、こんなにもたくさんの人から愛される桜になるとは思わなんだ――」。相野の花の所有者、竹﨑勇さんと一子さんは口を揃えます。

「相野の花」は約60年前、立石地区にある旧竹﨑家に、勇さんが植えたしだれ桜です。勇さんは当時を振り返り「農家の長男なので、毎年桜の時期は米作りで忙しかった。友達が花見を楽しんでいるときも、自分は田んぼで苗代作り。だから、いつでもほほ笑みます。

笑顔咲く、愛の花

「今では花見客の顔を見るのも好きになった。みんな違った表情をしとる」と勇さんが話し出すと、一子さんは「相野の花を見に来る人は、行きと帰りで表情が違う。表情が暗い人も、帰りには明るい笑顔に変わる。みんな、桜に癒しを求めにやって来るのでしょう。私も、花開こうと頑張るつぼみを見上げては、毎年元気をもらっています」と教えてくれました。

勇さんが桜を植えてから60年。竹﨑家の暮らしには、いつも桜がありました。毎年、家族で開花を待ちわびたり、花見客をもてなしたり、桜を通して夫婦の絆も強くなっています。土間に飾られた写真や俳句のように、たくさんの人との縁も結んでいます。

相野の花を「愛の花」と呼ぶ人もいます――。優しく笑うように揺れる相野の花と深い愛情で包んでくれる竹﨑さんたちの姿が、愛の花と重なるのかもしれません。今年もまた、咲き誇る相野の花の下で、たくさんの人の縁が結ばれることでしょう。

壁に飾られた写真や俳句を眺める竹﨑さん夫妻

「相野の花」の全景。水面には逆さになった桜が映り込む

相野の花――
それは愛の花。
それは縁結びの花。

竹﨑　勇さん
一子さん＝水元＝

かわいい看板犬「かあさん」がお出迎え。あまりにも吠えないため、一子さんから「ねこ」と呼ばれることも……

桜物語
その2

亡き義兄を思う
尾首の池の桜並木

尾首の池とソメイヨシノ

尾首の池に立ち並ぶソメイヨシノ――。池岡義明さんが50年前、義兄の玉井賢市さんと一緒に植えた思い出の桜です。

「ここから、小田の町と山が一望できますよ。いい眺めでしょう」。立石地区・尾首の池の近くに住む池岡義明さんが、自宅の庭から遠くの景色を指さしながら話し始めます。「50年前に近くの道路が開通して、記念に何か植えようとなったんよ。花見ができるけん桜がええな、桜が池に映り込んだらきれいやろうなとか、賢兄と二人で決めたのを思い出す――」。賢兄とは池岡さんの義兄の玉井賢市さん。30年ほど前に他界し、有名になった桜並木を見ることはかなわませんでした。

二人の桜がみんなの桜に

「賢兄とは家も近かったし、互いの家で桜を見ながら酒を酌み交わしたもんよ。花見は二人だけの楽しみやったなと池岡さん。

尾首の池の桜が広く知られるようになったのは10年ほど前、立石自治会の有志でつくった「愛鱗会」が、春まつりを始めてからです。「人が人を呼ぶというか、回を重ねる度にだんだんと花見客が増えていった。町外や県外から来てくれる人もいて、そりゃうれしいよ」と喜びます。

池岡さんは、たくさんの人に尾首の池の桜を楽しんでもらおうと、自ら油圧ショベルを操作して、花見がしやすいように池の周りを整備。そこには地元の人が作ってくれた丸太のベンチが並んでいます。

「桜は病気に弱いから、毎2年消毒もしてやる。大きく育ってくれたおかげで、今では上の方は届かんなった。植えた頃は苗木だったから、年を取ったと感じるな」としみじみ語ります。「賢兄と桜を植えたときには、今のようににぎやかに花見を楽しめるとは思わんかった。生前、賢兄から桜への思いを聞いたことがなかったのが残念。たくさんの花見客でにぎわう、今の尾首の池を見たら、きっと喜ぶやろうな」と、亡き義兄に思いをはせていました。

池岡さんと玉井さんが植えた桜並木

池岡　義明（よしあき）さん
＝立石＝

小田を代表する野村のしだれ桜

桜物語
その3

地域の心は一つ、
桜広がる里山へ――

「野村のしだれ桜」と花の色濃い陽光桜（ようこうざくら）。桜の里づくりを進める野村地区の松本晉（すすむ）さんに話を聞きました。

松本　晉（すすむ）さん
＝野村＝

この風景を守らなければ

野村地区の風景を描き続けている画家・松本晉さんは、「桜の里づくり」を推進するメンバーの一人――。「野村地区の風景を残したくて、たくさんの絵を描きました。昔は葉たばこ農家が多くて、白い三角キャップが並ぶ畑はとてもきれいだったんですよ。でも、高齢化で畑をする人が減ってしまい、このまま集落は荒れるのだとあきらめてしまった」と、植樹が始まった6年前の心境を語ります。

集落の人々の心が動くきっかけを作ったのは、並木博紀（ひろき）さん。野村地区の見晴らしのいい景色に惚れ、6年前に神奈川県から移住してきた人物です。並木さんの「ここの景色を守りたい」という思いに、松本さんたち「おかげで地域の魅力を再確認できた。私たちが守らなければ」と桜の里づくりが始まります。

里山の未来を描く

11月25日に完成したのは、集落を一望できる丘に建つ木造の見晴らし小屋――。地域の人たちが土地や木材を提供し、地元の大工らが協力して、約20万円で作ったそうです。松本さんは「植樹を始めた頃の桜も大きくなってきて、楽しみが増えた。将来、この小屋から見える景色は、一面の桜が広がるきれいな里山になっていることでしょう」と顔をほころばせます。

この春からは「ねき歩き（※）」のコースを設ける野村地区。松本さんのギャラリーもコースに入り、絵画でも野村地区の魅力を紹介します。「小さなことだけど、私たちが守ろうとしている景色を見てもらうきっかけにしたい。桜が咲く頃に、ぜひ遊びに来て」と呼び掛ける松本さん。心の中の筆は、野村地区の未来を描いています。

【上】松本さんが描いた陽光桜と葉たばこ畑の風景
【下】住民が協力して完成させた見晴らし小屋。集落が一望できる

※「ねき」は「近く」を意味する方言。内子町の魅力を歩いて体験するまち歩きのこと

桜は、10日ほどで葉桜に変わります。そのはかなさ故に、人はより桜に美しさを感じるのかもしれません。

500年変わらぬ思い

「良い世の中でありますように」との願いで名付けられた「世善桜」。500年経った今も、上川地区の人たちが桜まつりを開くなど、地域の人から大切にされ続けています。また、野村地区のように、未来を思い描きながら、桜を植え続けている地域もあります。「地域を良くしたい」。その思いは、500年前の人々の思いと同じかもしれません。

あなたの笑顔が桜の里の元気につながる

皆さんが桜を楽しみ喜ぶ顔は、その地域の元気につながります。今回紹介できた桜はほんの一部ですが、あなたが出会う桜の1本1本に、人や地域の思いが込められているはず——。今年の春は、桜とその背景にある物語に思いをはせながら、花見を楽しんでみませんか。

その桜にも、思いがある。

地域の未来を変える1,000本の八重桜

南山自治会は地域づくり事業として、27年から八重桜の植樹活動を始めました。1,000本を目標に、集落にこれまで300本を植えてきました。

今、南山の高齢化率は70㌫を超えています。そのため、集まりがあれば暗い話題が多くなりがちです。昔は、山向かいの家と「おーい」と声を掛け合うほど、見晴らしのいい集落でしたが、今では間伐されない杉が集落を覆うようになりました。狭くて薄暗い、何か冷たい景観という印象——。だから、田舎の環境に自信を持てるようにしようと、植樹に取り組むことになりました。「個人で楽しむんじゃない、地域のみんなで楽しもう」と話し合い、協力を呼びかけました。集落のためになるならと、90歳を超える人が活動に協力してくれたことも——。今では、八重桜の話題が地域を明るくしています。

1,000本全てが成木になる10年、20年先、南山に春が訪れると、集落ごとに植えた八重桜がモザイク状に咲き誇り、必ず目を引く景色が広がると思っています。

「どうだ、田舎もいいもんだろう」。そう胸を張って言える日が、今から楽しみです。

南山自治会長
源田　幸生（ゆきお）さん＝源台組＝

世善桜＝上川＝

約500年前、この地を治めていた大野朝直（ともなお）が、大和国（現奈良県）吉野から、桜の苗を持ち帰ったと伝えられる「世善桜」。

老衰や雪による倒木が見受けられますが、500年以上もの間、その美しさで人の心を癒やしながら、この地を見守っています。

公式観光サイトで桜の見どころ紹介中

内子さんぽ 桜めぐり

【問い合わせ】
内子町ビジターセンター
☎0893（44）3790

安全・安心な水への思いを託して
旧大瀬簡易水道組合が町へ寄付

旧大瀬簡易水道組合（大西昭久（まさひさ）組合長）の代表者3人が2月9日、内子町役場に来庁し、同組合の解散により生じた残余財産550万円を町に寄付しました。

同組合は28年4月に内子町上水道事業へ経営統合されるまでの約60年間、水道の改良・拡張工事を続け、地域住民の生活の向上に貢献してきました。大西組合長は「寄付金は災害などの非常時のために積み立ててきた地域の財産。今後も大瀬地区に安全・安心な水を供給するために役立ててほしい」と話しました。

大西組合長（写真右）から稲本隆壽（たかとし）町長に目録が手渡された

愛媛県広報コンクール・広報紙町部
『広報うちこ』が6年連続で特選受賞

29年愛媛県市町広報コンクールが1月23日に開かれ、広報紙町部で『広報うちこ』が、6年連続で特選を受賞しました。

講評では「石畳地区の取り組みが非常に伝わる」「取材した内容が素晴らしい」と高評価。愛媛新聞の地軸にも、その内容が紹介されました。

受賞は素晴らしい地域活動を続けている皆さん、素敵な笑顔や頑張る姿を取材させてくれる皆さん、読んで応援してくれる皆さんのおかげです。これからも紙面を通して、内子町の輝きを伝えられるよう頑張ります。

石畳地区の地域づくりを特集し、特選を受賞した12月号の表紙

子どもたちの外国語活動のために
先生たちも学ぶ、研究発表会

「小学校外国語活動推進校研究発表会」が2月9日、内子小学校で開かれました。同校は29年度、町教育委員会の指定を受け「英語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」を主題に1年間、活動を続けています。

同発表会には、町内外の小中学校の教諭など78人が参加。公開された5・6年生の授業などを基に意見を交した他、文部科学省の直山木綿子（ゆうこ）調査官の講演を聞き、外国語学習の指導力向上を図りました。

児童たちは英語で、「夢の時間割」や「将来なりたい職業」を発表したり、参観者と積極的に会話したりするなど、1年間の学習の成果を発揮していました。

（上）5年生の授業。「夢の時間割」について英語で聞き合う　（下）研究発表会で気付いたことを書き出し、グループで協議する参加者

愛媛県知事表彰を受けた皆さん

「平成30年内子町消防出初式」功績をたたえ124人を表彰――

「平成30年内子町消防出初式」は2月18日、内子町共生館で行われました。稲本隆壽（たかとし）町長や山本徹（とおる）内子町議会議長をはじめ多数の関係者が出席。団員や関係者の消防活動の功績をたたえて各種表彰が行われました。

受賞者は次のとおりです。

日本消防協会長表彰

（功績章）

内子方面隊　方面隊長　篠崎弥継

（精績章）

内子方面隊　大瀬分団　分団長　山本哲昭

五十崎方面隊　五十崎分団分団長　船田辰雄

（勤続章）

内子方面隊　大瀬分団　部長　大野朝司

五十崎方面隊　御祓分団　部長　山口恵司

平岡団分　団員　岡本清光

団員　平田勝実

小田方面隊　小田分団副分団長　冨岡勝寿

田渡分団　団員　大森浩平

団員　大森誠二

愛媛県知事表彰

（功労章）

内子方面隊　内子分団副分団長　渡部文人

満穂分団副分団長　宮岡利則

小田方面隊　参川分団副分団長　沖田裕樹

田渡分団副分団長　上野　茂

愛媛県消防協会長表彰

（功績章）

内子方面隊　内子分団　分団長　西森政利

満穂分団　分団長　山本隆司

五十崎方面隊　天神分団　分団長　沖野　勲

（勤続章）

内子方面隊　内子分団　班長　今宮健志

班長　永田孝行

団員　竹内　宏

団員　上岡　隆

五城分団　団員　中川宏幸

大瀬分団　団員　太場岡誠治

団員　森田　敦

団員　森田敏洋

団員　河野哲郎

満穂分団　団員　亀井洋之輔

団員　佐伯　実

団員　福見　博

団員　井上淳一

団員　和田満広

団員　池田辰夫

団員　城戸　陽

五十崎方面隊　五十崎分団　団員　河野　了

団員　森川良平

天神分団　団員　伊達勇人

御祓分団　団員　浦石　武

小田方面隊　小田分団　団員　丸本耕治

団員　谷岡浩二

団員　村上喜昭

田渡分団　団員　福岡　旭

家族内助の功労者表彰

谷岡和彦氏の妻　谷岡惠美子

優良団体表彰

論田自主防災会　会長　京岡雄二

中央自主防災会　会長　髙岡幸泰

大洲喜多消防団連合会長表彰

（勤続章）

内子方面隊　内子分団　団員　大本浩司

団員　森　将士

五城分団　団員　石岡健一郎

団員　森岡英樹

団員　尾形起範

団員　竹内孝悦

大瀬分団　団員　石井愛二

団員　吉田　武

団員　金岡健二

団員　冨永　進

立川分団　団員　山本博之

満穂分団　団員　岡田智也

五十崎方面隊　五十崎分団　団員　鎌田誠二

団員　久保和賢

平岡分団　団員　久保省二

団員　福山　守

団員　松岡幸廣

天神分団　団員　前田健男

団員　寺谷篤史

団員　上田耕平

団員　上石悟之

団員　宮田　優

小田方面隊　小田分団　団員　三浦祥道

参川分団　団員　亀岡友和

団員　崎岡　博

田渡分団　団員　泉田大介

女性部　団員　石尾真由美

（規律章）

内子方面隊　内子分団　団員　中原　崇

五城分団　団員　中野見秀

立川分団　団員　石井隆樹

五十崎方面隊　五十崎分団　団員　髙橋　功

天神分団　団員　和氣　敬

小田方面隊　田渡分団　団員　宮岡和夫

内子町長表彰

内子方面隊　内子分団　団員　山本貴嗣

団員　兵頭和也

団員　小河卓也

団員　多比良康彦

団員　大野敏久

団員　坪田　聡

団員　西岡俊彦

団員　峯下淳一

団員　久保健作

団員　石川和史

団員　安部喬也

団員　窪　和正

大瀬分団　団員　明智洋平

団員　榎　一茂

団員　谷岡範彦

団員　大本陽介

団員　武田光治

立川分団　団員　長田　貢

団員　植岡孝康

団員　宮岡祥生

満穂分団　団員　徳岡和則

団員　崎岡健彦

団員　武藤浩次

団員　宮田和幸

五十崎方面隊　五十崎分団　団員　大久保真一

平岡分団　団員　岡田敏嘉

団員　松岡裕太

団員　城本英二

団員　西川忠裕

団員　森石健太郎

団員　和氣充裕

天神分団　団員　宮内大輔

団員　丸山健二

団員　松本浩二

団員　和田哲男

団員　久保靖浩

団員　久保聡明

御祓分団　団員　野口直樹

小田方面隊　小田分団　団員　亀岡康平

団員　大塚龍一

参川分団

※順不同、敬称略

元気いっぱいにスタートする１年生男子

友だちにも自分にも負けないぞ 恒例の「子どもマラソン大会」

「第44回子どもマラソン大会」(内子小学校、内子・城廻地区愛護班連絡会共催)は２月16日、内子小学校周辺で開かれました。ベストを尽くして走る児童の姿に、沿道から大きな声援が送られました。６年連続優勝を遂げた織田優波(ゆわ)さんは「初めて優勝したとき、６連覇できるのは私だけと言われて、ずっと目標にしていた。みんなが応援してくれていたので、うれしい」と喜びました。

会話が弾み、和やかな雰囲気の会場

苦楽を乗り越えて今がある―― 結婚50年を共に祝う「金婚祝賀会」

「金婚祝賀会」(内子町社会福祉協議会４分会主催)が２月22日、内子自治センターで開かれ、内子・五城・立川・満穂分会から、昭和42年度に結婚した13組が参加しました。同協議会の中川稔徳(としのり)会長が「結婚50年は、冬季オリンピックの金メダルに値する記念日。共に祝いましょう」とあいさつ。求道三絃由謡会(ぐどうさんげんゆうようかい)による津軽三味線の演奏もあり、夫婦が共に歩んできた50年に花を添えました。

手話をしながらの合唱を披露した園児たち

みんなで支え合う地域を目指して 「内子町社会福祉大会」を開催

「平成29年度内子町社会福祉大会」は２月24日、内子町共生館地域福祉で開かれました。大会ではまず、多年にわたり民生児童員を務めた能仁壽哉(のうにんとしや)さんなど９人に、社会功労者表彰が手渡されました。次に保育園児の歌や踊り、講談師・旭堂南鱗(きょくどうなんりん)さんの「笑って脳を鍛えて健康長寿」と題した講演などが行われ、参加した約400人が地域福祉への理解や住民同士の交流を深めていました。

水打ち体験。当時は数万枚の蝋蓋(ろうぶた)に水打ちをしていた

昔、内子町で盛んだった木蝋づくり その技術と苦労を子どもたちが体験

「木蝋づくりについて学ぼう！」(内子自治センター、八日市・護国町並保存センター共催)が２月24日、木蝋資料館上芳我邸で開かれました。参加した小学生８人は「カラサオ」や「ダイガラウス」など、昔の道具を使いながら一連の作業を体験しました。鈴木日捺(ひな)さん(内子小６年)は「多くの作業があって、びっくりした。体験して学んだことを家族に伝えたい」と楽しんだ様子でした。

世界に誇れる「日本の格好良さ」 DRUM TAOが圧倒的な舞台で観客を魅了

「DRUM TAO SPECIAL LIVE 2018(ドラム タオ スペシャル ライブ)」(内子町文化創造事業実行委員会主催)が２月２日、共生館で開かれ、町内外から約400人が来場しました。

DRUM TAOは、大分県竹田市を拠点に世界で活躍する和太鼓エンターテイメント集団。結成以来、24カ国500都市で公演し、動員数は800万人に迫ります。内子町での公演は初めて――。同実行委員会が世界的な公演を開催することで、町の文化芸術の振興と文化力の向上を目指したいと企画しました。

和太鼓の他にも篠笛や琴・三味線などの演奏、扇子や槍のような長い棒を用いた演舞など、多彩な演目は圧巻。最新の映像技術と融合し、内子町では類をみない舞台になりました。アンコールを含めた15曲に、ホールを埋めた来場者は、総立ちで拍手を送っていました。

初めてDRUM TAOを見たという西岡加代子(かよこ)さんは、「世界的レベルのパフォーマンスをこの目と耳、内子町で体感できて感動。ファンになりました。また見に来たい」と興奮冷めやらぬ様子で話しました。

1_プロジェクションマッピングという映像技術で、共生館の舞台が別世界に　2.3_迫力ある演奏で観客を魅了
4_舞台を降りてのパフォーマンスに、観客は大興奮

地域に根ざした活動を広げるために―― 研究大会で「移住」について考える

「大瀬自治センター地域づくり研究大会」が２月９日、大瀬自治センターで開かれました。「移住から定住、そして未来へ」をテーマに、元地域おこし協力隊の山内大輔(だいすけ)さんと大分県竹田市の首藤勝次(かつじ)市長が講演。首藤市長は「地域遺伝子に導かれて」と題し、「残すべきものは何か、伝えるべきものは何か――　その願いが地域の遺伝子になる」と地域づくりの根幹や、町への思いを語りました。

「農村回帰宣言」という移住政策を掲げる首藤市長

子どもたちが地球の環境を考える 「内子町環境子ども会議」

「平成29年度内子町環境子ども会議」(内子町・内子町教育委員会主催)が２月14日、共生館で開かれ、町内全ての小・中学校から281人が参加しました。

子どもたちは８つの分科会に分かれ、廃食油キャンドル作りやこんにゃく作りの他、東京オリンピックのメダルをパソコンや携帯電話の金属から作る話など、体験や講話を通じて環境問題について考えました。

顕微鏡で微生物を観察する児童たち

FROM ME TO YOU

みんなでつないでリレーエッセイ

「内子に遊ぶ 内子於遊」

松岡　秀夫（ひでお）さん（55）
＝知清＝

昭和30年代後半、下火になっていたとはいえ、映画館は庶民にとって娯楽の殿堂でした。亡き母が切符のもぎりをしていた「旭館」。あのセピア色の光景は、幼い頃の記憶の1ページです。当時、遊び慣れた町並みが、歴史的な建造物として後々脚光を浴びようとは、誰が予想したでしょうか。

小学6年生の冬、父の仕事の都合で内子を離れ、松山、今治と移り住みました。縁あって18歳の春に帰郷してから、今年で38年目となります。

20代の頃は、演劇活動にのめり込んでいました。町、郡、県大会を制し、初の全国大会出場を果たすことができました。そのときに企画したお披露目公演では、満場の喝采と温かい言葉をいただきました。それらが背中を押してくれ、翌年の平成6年秋、内子座で「劇団オーガンス」を旗揚げしました。口幅ったい言い方ながら、行政や企業の援助に一切依存しない自主自立の劇団が、四半世紀存続するのは極めて稀なことです。

「古い芝居小屋も、整然と建ち並ぶ町並みも、歴史的建造物としてふさわしい価値はある」。と考えながら、ふと内子座舞台正面を見上げれば「藝於遊」（芸に遊ぶ）の文字。住人が自らの意思で集い、そこに遊び、やりがいを見いだし、自己実現の場となる。そうすればきっと、建造物としての価値だけでなく、町民のために活用される価値が何十倍にも膨らむに違いありません。

内子於遊――。これからも、内子という舞台を精一杯遊びたいと思います。

▼次は、山本範彦さん＝石畳9＝にお願いします。

わが家の一皿
SPECIAL DISH

「さつまいもケーキ」

●作った人

中岡　清子（きよこ）さん
＝新川町＝

●材料（1台分）

さつまいも	250グラム
牛乳	200ml
卵	2個
砂糖	50グラム
薄力粉	30グラム

●作り方

①さつまいもをラップで包み、レンジで5分程度加熱して柔らかくなったら皮を取り除く。

②フードプロセッサーでペースト状にしたら、残りの材料をすべて入れてさらにかき混ぜる。

③クッキングシートを敷いたケーキ型に流し入れ、170℃のオーブンで50分焼いた後、冷やして完成。

HAPPY BIRTHDAY

おめでとう　はじめてのバースデー

3月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

宇田　好輝（こうき）くん　松尾
いつもニコニコ笑顔の好ちゃん♡みんなの癒しです。

山本　紘菜（ひろな）ちゃん　松尾
お姉ちゃん、お兄ちゃん大好き♡いっぱい遊んでね!!

森井　結菜（ゆな）ちゃん　富長
笑顔すてきなわんぱくガール♡もうすぐ歩けそう。頑張ります。

冨永　すずちゃん　内子13
元気いっぱいわが家のアイドルすずです。笑顔にみんなメロメロ♡

高松　美呼（みこ）ちゃん　内子13
果物、音楽、お兄ちゃんが大好き！　いつも笑顔のみこです！

大川　一成（いっせい）くん　内子15
毎日モリモリたくさん食べて、んびり元気に成長中！

狩野　凪咲（なぎさ）ちゃん　内子18第1
食べるの大好き♡　早く大きくなってたくさん遊びたいな！

光井　万笑（まえ）ちゃん　田中
リモコン大好き、おしゃべり大好き、抱っこはもっと好き。

宇都宮幸佑（こうすけ）くん　内子19第2
僕はバナナが大好きです。春になって公園で遊ぶのが楽しみです。

山本　晟也（せいや）くん　宮原
いつもニコニコ、食べるの大好き。いっぱい食べて大きくなるよ！

渡邉　心春（こはる）ちゃん　西沖
ねぇね大好き♡　いつも一緒に遊んでくれてありがとう。

髙岡　奈桜（なお）ちゃん　内子18第1
お姉ちゃんと毎日楽しく遊んでいます。元気に大きく成長中☆

TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

心が晴れる素敵な宿「内子晴れ」

岡本真理子（まりこ）さん（33）内子10

築170年の古民家を地域の人や仲間と改装した「古民家ゲストハウス＆バー内子晴れ」の前で

11月に開業した「古民家ゲストハウス＆バー内子晴れ（以下、内子晴れ）」。岡本真理子さんは昨年の夏頃から内子町に住み始め、内子晴れで働いています。

日本各地を旅して、箱根や京都のゲストハウスでも働いたという岡本さんは、「旅先での出会いは心に残る。内子晴れのお客さんにも、心が晴れるような素敵な出会いをしてほしい」と目を輝かせます。

内子町の印象を「幼い頃から大好きな町。古くて美しい町並みだけでなく、古き良き暮らしが息づいている」と話す岡本さん。旅行者にはガイドブックに載っていることだけでなく、ここの暮らしや住む人々の素晴らしさを伝えようと心掛けています。

夜にはバーカウンターにも立つ岡本さんは「地元の人の日常と旅行者の非日常が交錯するのが好き。お酒を飲みながら互いが打ち解ける様子を見て、素敵だなぁと感じる。内子晴れは旅した気分になれる場所なので、内子町の皆さんにもぜひ利用してほしい」と晴れやかな笑顔を見せてくれました。

FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
タニア・カトビ
Tania Katbi

ごみ問題を地球のみんなで考える

私たちが一日にどのくらいの量のごみを出しているか、考えたことはありますか。平均的なアメリカ人は1日に2㌔、日本人は1.1㌔のごみを出しているそうです。何でも包装されて便利に生活していますが、その包装紙などのごみはどうなるのでしょうか。

プラスチックは分解するのに1,000年も掛かるといわれています。アメリカではプラスチックは埋め立てられ、土壌を汚染しています。日本では燃やして空気を汚しています。それらは海にも影響を及ぼし、私たちが食べる魚にも蓄積されるのです。

そのことを知った私は数年前、ごみを最小限にする挑戦を始めました。プラスチックを使用しないようエコバックや水筒を持ち、ハンカチや竹の歯ブラシを使っています。買い物の仕方や購入するものを変え、再利用できるものを選ぶ努力をしました。しかし日本では、プラスチックを使わないのはとても難しいことです。

私は日本でも、自分の価値観に沿った生き方ができるよう、新しい方法を一生懸命探しています。皆さんもたった1日、プラスチックを使わないようにしてみてください。それは簡単なことではありませんが、可能なことです。そしてそのことで、私たちがどれだけ多くのプラスチックを使っているかに気付くと思います。地球は一つしかありません。大切にできるのは私たちだけなのです。

SAVE THE EARTH

くらしのエコロジー

5つのR（アール）を実践する「ごみゼロのまち」

《国が目指す循環型社会》

国は環境への負荷を減らす「循環型社会」の形成を目指しています。

循環型社会では現代社会の大量生産・大量消費を見直し、地球と環境の自然な循環を尊重する仕組みを構築します。そのために住民・事業者・行政が協働して、国が推進している3R（さんあーる）（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組むことが必要です。それでも出てしまうごみは、適正に処理することで有効に活用し、埋め立てる量を最小にします。循環型社会は、地域の環境保全にもつながります。

《内子町をごみゼロのまちに》

内子町では3Rに「リフューズ（ごみになるものを断る）」「リペア（修理して長く使う）」を加え、「5R（ごあーる）活動」に取り組んでいます。住民や事業者の皆さんと一緒に無駄や浪費を減らし、資源を大切にすることで、エコロジータウンにふさわしい「ごみゼロのまち」を目指します。

「循環型社会」や「ごみゼロのまち」の実現は、未来の地球の環境を守るために、とても重要なことです。一人一人が「5R活動」を実践して、環境に優しく無駄のない暮らしを心掛けましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159

VOICE

まちの声

皆さんの「声」をお寄せください

「広報うちこ」では、皆さんからの「まちの声」を募集しています。

まちづくりや行政に対するご意見、身近で気になる話題など、内容は問いません。ぜひ皆さんの「声」をお寄せください。

【宛先・問い合わせ】
内子町役場総務課
政策調整班広報・広聴係
〒795－0392
内子町平岡甲168番地
☎0893（44）6151
✉koho@town.uchiko.ehime.jp

Q 広報クイズ

「広報うちこ」3月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

①消費者の安全と安心を守る――
「内子町消費生活●○○○○○○○」の相談員を募集します。
②「○○○○○●」愛基金
助成希望団体を募集中。
③子どもたちが地球の環境を考える
「内子町○○○○○○○○○○●」
④新着図書紹介。安次嶺隆幸（あじみね）／著
「羽生善治監修○○○○●○○入門」
⑤地域に根ざした活動を広げるために研究大会で「○○○●」について考える。

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛て先：〒795－0392
内子町役場　総務課　広報・広聴係
締め切り：3月31日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」5月号

●1月号当選者の皆さん

答え「せいじんしき」　正解数59
- 篠﨑　弘子さん　（内子18第2）
- 森　眞千子さん　（内子18第2）
- 丸山　八子さん　（護国）
- 大森　　蓮さん　（東沖）
- 中岡　賢一さん　（岡第2）
- 城本　優希さん　（柿原）
- 白尾　愛実さん　（平野）
- 岡田　久子さん　（大平）
- 露内恵美子さん　（大洲市）
- 相原　　仁さん　（松山市）

図書館へ行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子３４２７番地
☎０８９３（44）４１９８
http://www.town.uchiko.ehime.jp/library/
開館時間：
午前９時30分～午後６時
休館日：月曜日・月末整理日

●図書寄贈のお礼

29年度、次の皆さんから図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。
長野健一様／森長照博様／田中孝子様／大本悦子様／藤澤和様／神奈川大学編纂室様／かわうそ復活プロジェクト様／㈱西渕工務店様／劇団オーガンス様／内子町郷土研究会様
（順不同）

●大活字本を入荷しました

『金沢あかり坂』五木寛之／『おはぐろとんぼ』宇江佐真理／『四十八人目の忠臣』諸田玲子／『身の上話』佐藤正午／『ポニーテール』重松清／『とりつくしま』東直子／『ぬるい生活』群ようこ／『螢草』葉室麟／『乱反射』貫井徳郎
（他、計20冊）
※その他にも朗読CDもあります。ご活用ください。

●「読書通帳」達成状況

読書通帳は、借りた本が記録できる図書館専用の通帳です。現在延べ２６１人が利用しています。達成状況は次の通りです。
▽１００冊（27人）
▽２００冊（４人）
▽３００冊（１人）
▽４００冊（１人）
▽８００冊（１人）
皆さんも読書通帳を作って、読書を楽しんでみませんか。

●3月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家⑩》
▽創作絵本・紙芝居大集合

おはなし会
▽土曜日・午後２時～
3月3日　むしこまど
10日　むしこまど
17日　むしこまど
24日　どんぐり会

文学講座
▽3月10日(土)　午前10時～
▽内容「新蔵人物語」を読む
▽講師　村山洋子さん

新着図書紹介　その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書

花精の舞
波多野聖／著
能楽家の娘に生まれた綾は、女ながら能楽師を志す。美と舞いを追い求め、明治・大正・昭和の時代を自分らしく生き抜いた女性の生涯を描く

夢でなく、使命で生きる。
花田優一／著
大横綱の家に生まれながら、靴職人になった花田優一。常に自分の「使命」を見据える生き方とは？　失敗や孤独を怖れない68の言葉を紹介

♥児童図書

古代オリンピックの奇跡
メアリー・ポープ・オズボーン／著
ジャックとアニーの兄弟は、マジック・ツリーハウスの不思議な力で古代ギリシャへタイムトリップ。冒険をしながら謎を解いていく

羽生善治監修子ども将棋入門
安次嶺隆幸／著
将棋のルールや、駒の動かし方などの将棋の基本を分かりやすく丁寧に解説。実際に手を動かしながら、駒の使い方を覚えることができる

UTIA　Uchiko Town International Association
内子町国際交流協会の情報誌「ゆうてぃあ」
事務局　内子分庁３階
☎ 0893（44）2114
fax0893（44）6137
http://utia.jp/
VOL.203

今年も内子町駅伝競走大会に参加しました

内子町国際交流協会は、1月21日に行われた第13回内子町駅伝競走大会に参加しました。

今年は、初めて走る外国語指導助手（ＡＬＴ）のタニアさん、助っ人の佐々木美智子さんなどフレッシュな顔ぶれでチームを結成。楽しく走ることをモットーに、完走を目指して頑張りました。当協会の応援団もポンポンやプラカードを持って、にぎやかに声援を送り、チーム一丸となって大会を盛り上げました。

アンカーを務めたタニアさんは、「寒くて走るのは大変だったけれど楽しかった。内子町の一員のように感じることができ、うれしかった」と感想を話しました。

当協会に参加してくれた皆さん、沿道で応援してくれた皆さん、ありがとうございました。

1_ラストスパートするタニアさん　2_初めて国際交流協会のチームで走った和氣史奈さん　3_元気いっぱいのエールでチームを鼓舞する国際交流協会の皆さん

＼アラビア料理を楽しみました／

国際理解講座が1月27日、内子自治センターで開かれ、18人が参加しました。

参加者は、講師のタニアさんに調理のコツを教わりながら、肉と米をブドウの葉で巻いた「Warak Enab」やひよこ豆を使ったペースト「Hummus」などの中東の伝統的な料理を作りました。

調理の他にも、ヨルダンでの生活を学んだり、作った料理を食べながら交流を楽しんだりしました。参加者は「最近は、いろいろな国のランチが食べられるようになったが、まさか内子でアラビア料理が食べられるとは思ってもみなかった」などの感想を述べました。

Wark Enabの具をブドウの葉で包む難しい工程を丁寧に教えるタニアさん

START

新デマンドバス路線運行スタート

デマンドバスとは、利用者の予約に応じて適宜ルートを変えて運行するバスのことです。内子町では、利便性の向上や未来に継続する公共交通を目指して、既存路線の見直しをしながら運行しています。

30年度から一部路線が変わりますので、お知らせします。

●長田・大久保線は３月末まで無料で運行

３月２～30日の間、試験運行を行います。試験運行中は無料なので、ぜひお試しください。

※福祉バス「長田線」「大久保線」は、３月31日で廃止します。

●２路線を統合して「田渡線」に――

「臼杵・上田渡線」と「中田渡・吉野川線」を統合し、「田渡線」に統合して運行を始めます。

▷運行開始　４月２日（月）

▷注意点　これまで「臼杵・上田渡線」を利用していた人は、運行日と予約する電話番号が変わりますので、ご注意ください。

デマンドバスを利用する手順

1 まずは事前登録

予約制のため、事前登録が必要です。登録票は総務課（本庁）、内子分庁、内子東自治センター、大瀬自治センターにあります。

2 利用前日までに電話で予約

予約は「デマンドバス予約センター」で受け付けます。前日までに、電話でお申し込みください。

3 予約時に次の1～3を伝える

1 自分の氏名と地区名
2 どの路線を利用するか
3 利用日・時間・乗車場所

※予約した便を変更する場合やキャンセルする場合は、必ずデマンドバス予約センターにご連絡ください。

新デマンドバス運行表

新規運行　路線統合

◎デマンド長田・大久保線

▷該当地区　長田、大久保

▷運行日　毎週火曜日・金曜日

【予約】☎フリーダイヤル　0120（565）556

	大久保集会所発	役場本庁発
第１便	午前７時40分	午前７時00時
第２便	午後１時40分	午後１時00分
第３便	午後５時00分	午後４時20分

◎デマンド田渡線

▷該当地区　臼杵、上田渡、中田渡、吉野川

▷運行日　毎週月曜日・木曜日

【予約】☎フリーダイヤル　0120（565）556

	中田渡自治会館発	小田支所発
第１便	午前９時20分	午前８時40時
第２便	午後１時30分	午後０時50分
第３便	午後５時30分	午後４時50分

＊注意＊

- 始発時間は目安です。
- 予約状況により毎回運行ルートが変わります。
- 市街地内のみの移動は町営路線バスを利用ください。

【デマンドバスに関する問い合わせ】

総務課　管財係

☎０８９３（４４）６１５０

○消費者の安全と安心を守る――内子町消費生活相談窓口の相談員を募集

●**募集内容**　相談員１人

●**採用期間**　４月１日～31年３月31日

※勤務状況により継続あり

●**応募資格**

▽30年４月１日現在の年齢が18歳以上の人

▽地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人

●**勤務条件**

▽勤務時間　午前８時30分～午後５時15分

▽賃金　月額14万６１００円～（資格・経験により優遇）

▽その他　有給休暇、各種手当保険あり

●**選考方法**　面接

※詳細は応募者に通知します。

●**応募方法**　履歴書（市販）、資格がある人は資格証の写しを応募先へご提出ください。

●**応募期限**　３月23日（金）午後５時まで

【応募・問い合わせ】

住民課　消費生活相談係

☎０８９３（４４）６１５２

○保育園の一時預かり事業30年度はくるみ保育園で実施

保護者の急な仕事や病気などのとき、保育園に入園していない児童でも一時的に預かる「一時保育」を行っています。利用を希望する場合は、事前に申し込みが必要です。

●**実施保育園**　くるみ保育園

●**受入日**　毎週月曜～土曜日

●**利用時間**　午前８時30分～午後４時30分

●**定員**　１日８人

●**利用可能日数**　１週間で３日以内。１ヵ月で14日以内

●**対象児童**　内子町に住所がある児童または母親の出産などで内子町内に長期的に滞在している児童

●**料金**　１日１５００円

【申込・問い合わせ】

くるみ保育園

☎０８９３（４４）２２８１

人権コラム＊幸せへの道

なくそう！　部落差別

部落差別は、日本固有の重大な人権問題です。過去の身分制度が元になり、一部の人々が長い間、経済的･社会的･文化的に低位の状態を強いられ、さまざまな差別を受けています。

主な問題には、次のようなものがあります。

◆結婚・就職における差別

被差別部落（同和地区）出身であることなどを理由に結婚に反対されたり、就職する際に不利な待遇を受けたりする差別です。

◆差別落書き

部落差別に関する落書きがされたり、ビラがまかれたりといった問題です。

近年、差別を扇動する目的で、インターネット上に特定の地域を被差別部落であると指摘するなどの事例も発生しています。インターネットの情報は一度拡散してしまうと完全に削除されることが難しいため、非常に問題です。

◆身元調査

出身地や特定の地区が被差別部落かどうかを調べることです。こうした調査は不当で差別的な扱いにつながりかねないものです。

28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。相談体制の充実や教育・啓発活動、実態調査を実施し、部落差別を解消することが目的です。

部落差別を見たり受けたりしたときは、まずご相談ください。みんなで部落差別のない明るく心豊かなまちの実現を目指しましょう。

【問い合わせ・窓口】

◎人権相談（内子町役場住民課内）

☎０８９３（４４）６１５２

◎人権教育協議会（教育委員会自治・学習課内）

☎０８９３（４４）２１１４

○内子町の環境について考える　各種委員を募集します

内子町ではエコロジータウン内子をキャッチフレーズに、環境に優しいまちづくりを住民の皆さんと一緒に推進しています。

環境に対する活動や施策に意見をいただく委員を募集しますので、ぜひご応募ください。

《内子町環境マネジメントシステム目標設定委員》

- **募集人数**　5人程度
- **対象者**　平日・昼間の活動が可能な人
- **任期**　1年間（年間で6～7日の活動を予定）
- **活動内容**　役場や学校などの具体的な環境活動や目標を定め、達成状況を確認します。

《内子町環境保全審議会委員》

- **募集人数**　若干名
- **対象者**　平日・昼間の会に出席できる人
- **任期**　2年間
- **活動内容**　町長の諮問に応じて、内子町の環境施策について意見を答申します。

《5R（ごあーる）推進委員》

- **募集人数**　10人程度
- **対象者**　平日の会に出席できる人
- **任期**　1年間（年間で4回の委員会を予定）
- **活動内容**　ごみ減量につながる5つの行動①断る（Refuse（リフューズ））②減らす（Reduce（リデュース））③再利用する（Reuse（リユース））④リサイクルする（Recycle（リサイクル））⑤修理して長く使う（Repair（リペア））――について一緒に考え、意見や提案をします。

《各委員の共通事項》

- **申込方法**　電話でお申し込みください。
- **申込期限**　3月26日（月）

【申込・問い合わせ】
環境政策室
☎０８９３（４４）６１５９

松山市で1日研修を行った5R推進委員会

コラム＊ねんきん瓦版

ご存じですか？　便利な「ねんきんネット」

「ねんきんネット」は年金記録など、自分の年金に関する情報をパソコンやスマートフォンで、いつでも確認できるサービスです。

受け取る老齢年金の見込額を試算できる機能もあります。現在と同じ条件で、60歳まで年金制度に加入した場合の見込額を試算する「かんたん試算」。条件を設定する「質問形式で試算」「詳細な条件で試算」などのメニューがあります。電子版「ねんきん定期便」の閲覧や、日本年金機構が郵送した各種通知書の確認ができます。

「ねんきんネット」を利用するには

「ねんきんネット」のホームページから利用登録（ユーザIDの取得）ができます。登録には基礎年金番号とメールアドレスが必要です。年金手帳や年金証書など、基礎年金番号が確認できるものを用意して登録してください。

※詳細はホームページ上でご確認ください。
http://www.nenkin.go.jp/n_net/index.htm

【問い合わせ】
○ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル
☎０５７０（０５８）５５５
※050で始まる番号から掛ける場合
☎０３（６７００）１１４４

日本年金機構からのお知らせ

資格期間が10年未満の人へ「年金加入期間の確認のお知らせ（案内）」を送付しましたので、必ずご確認ください。ご相談は予約の上、松山西年金事務所にお越しください。

【予約・問い合わせ】
ねんきんダイヤル
☎０５７０（０５）１１６５

軽自動車税の納付と減免の申請は５月31日まで

【問い合わせ】
税務課　軽自動車税係
☎０８９３（４４）６１５３

軽自動車税の納付について

軽自動車税は、4月1日現在で軽自動車・原動機付自転車・小型特殊作業車・自動二輪などを所有している人に課税される税金です。所有者には、納税通知書を５月上旬に送付するので期限内に納付してください。

●納期限　５月31日（木）

※三輪・四輪の軽自動車にかかるグリーン化特例は、31年度まで延長されました。

※最初の新規検査から13年を経過した車両は、新税率に重課を加算した税額となります。

軽自動車税の減免について

心身に障がいのある人が所有している軽自動車などで、一定の要件を満たす場合は、減免制度がありますので、係へ申請してください。なお減免を受けることができるのは、普通自動車を含めて障がい者１人につき１台までです。

●減免の申請期限　５月31日（木）

名義変更などについて

- 月割課税制度がなく、４月２日以降に廃車手続きをした場合は、その年度分の税金が課税されます。
- 名義変更をしないと、前の所有者に課税されます。
- 車両を廃棄した場合や盗難に遭った場合は、速やかに廃車手続きを行ってください。

●登録・廃車・名義変更などの手続き場所

▷軽自動車（三輪以上）
軽自動車検査協会愛媛事務所
☎０５０（３８１６）３１２４

▷軽二輪・自動二輪
愛媛運輸支局
☎０５０（５５４０）２０７６

▷原動機付自転車・小型特殊作業車
税務課　軽自動車係
☎０８９３（４４）６１５３
内子総合窓口センター（内子分庁内）
☎０８９３（４４）２１１２
小田支所　住民福祉係
☎０８９２（５２）３１１１

普通自動車税の減免制度もあります

障がい者手帳を有する人が４月１日現在で所有している普通自動車で、一定の要件を満たす場合にも、普通自動車税の減免制度があります。詳しくは、お問い合わせください。なお減免を受けることができるのは、軽自動車を含めて障がい者１人につき１台までです。

●減免の申請期限
４月２日（月）～５月24日（木）
※初めて申請する人は、５月31日（木）まで

●減免の申請場所
▷愛媛県南予地方局税務課
☎０８９５（２２）５２１１
▷愛媛県八幡浜支局税務室
☎０８９４（２２）４１３５

【問い合わせ】
保険福祉課　障がい者福祉係
☎０８９３（４４）６１５４

●減免の対象となる障害の基準

手帳の種類	障害の内容		障がいの程度	
			本人が運転	設計同一者が運転
身体障がい者	視覚		１～４級	
	聴覚		２～３級	
	平衡機能		３級	
	音声機能		３級（咽頭摘出者のみ）	
	上肢		１～２級	
	下肢		１～６級	１～３級
	体幹		１～５級	１～３級
	脳原生運動機能	上肢	１～３級	
		移動機能	１～６級	１～３級
	心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓		１～３級	
	免疫機能		１～３級	
療育	知的		程度「A」	
精神保健福祉	精神		１級	

募集

入居者募集

新田団地の外観

《①町営住宅》

●住宅の規格・家賃など

(1)新上村団地1号
▽住所　五十崎甲1620番地1
▽構造　木造2階・H4建
▽面積他　73・0㎡、3LDK
▽家賃(月額)　1万9800円～
※駐車場あり

(2)新田1団地166号
▽住所　寺村945番地
▽構造　木造2階・S63建
▽面積他　67・2㎡、3LDK
▽家賃(月額)　1万3200円～
※駐車場あり

(3)新田2団地172号
▽住所　寺村945番地
▽構造　木造2階・H1建
▽面積他　68・8㎡、3LDK
▽家賃(月額)　1万3900円～
※駐車場あり

●入居資格

次の(1)～(3)を満たす人
(1)同居親族のある人(ただし条件によっては単身入居も可)
(2)現に住宅に困窮していることが明らかな人
(3)収入基準(月額所得が20万円以下)を超えないこと

《②特定公共賃貸住宅》

●住宅の規格・家賃など

(1)町村団地世帯用(4戸)
▽住所　小田363番地
▽構造　中層耐火3階　H8建
▽面積　92・1㎡、3LDK
▽家賃(月額)　4万7000円～
※別に共益費が毎月1000円必要です。
※駐車場あり、オール電化

(2)町村団地単身用(1戸)
▽住所　小田363番地
▽構造　中層耐火3階　H8建
▽面積　46・99㎡、1DK
▽家賃(月額)　2万2000円～
※別に共益費が毎月1000円必要です。
※駐車場あり、オール電化

●入居資格

▽収入基準　月額15万8000円～48万7000円

《①②共通事項》

▽入居時に敷金(家賃3カ月分)が必要
▽家賃は、入居者の収入により決定
▽暴力団関係者は入居不可

●申込方法　入居者申込書を提出してください。

●申込期限　3月22日(木)

※申し込みがない場合は、随時募集します。
※申込書は建設デザイン課・内子分庁・小田支所にあります。

【申込・問い合わせ】
建設デザイン課　管理係
☎0893(44)6157

催し

うちこ福祉館のお知らせ

映画のポスター

《うちこ人権映画祭》

●上映作品　『この世界の片隅に』

●内容　戦時中の広島県呉市が舞台。ある一家に嫁いだ少女が戦禍の中、懸命に人間らしく生きる姿を伝えます。ぜひご覧ください。

●上映日　3月13日(火)

●上映時間など
①午後2時～
※対象は内子中学校3年生。一般が15人程度です。
②午後7時～
※対象は一般のみです。
※上演時間は2時間程度です。

●場所　うちこ福祉館

●入場料　無料

《健康講座(調理実習)》

●日時　3月13日(火)
午前9時30分～

●場所　うちこ福祉館

●内容　「赤・黄・緑の食事」／「健康診断について」

●定員　15人

●参加費　300円

●持参品　エプロン、頭巾

《わいわい喫茶》

●日時　4月2日(月)
午後1時～4時30分

●場所　うちこ福祉館

●参加費　無料

【申込・問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893(44)3410

うちこ福祉館講座を受講して学ぼう

❶生花教室
▽開講日時　第1、3水曜日の午後6時30分～9時30分
▽指導　土居美代子(みよこ)さん
▽受講料(月額)　1900円
▽定員　16人

❷茶道教室
▽開講日時　第2、4水曜日の午後6時～9時
▽指導　土居美代子(みよこ)さん
▽受講料(月額)　500円
▽定員　10人

茶道で和の心を学ぶ

❸小学生習字教室
▽開講日時　土曜日の午後1時～4時
▽指導　生口天籟(てんらい)さん
▽受講料(月額)
1家庭から1人＝800円
〃　2人＝1000円
〃　3人＝1200円
▽定員　各学年10人程度

※新規・保護者説明会
4月7日(土)午後1時～

❹押花教室
▽開催日時　第3月曜日　午後1時30分～3時
▽指導　西渕和美(かずみ)さん
▽受講料　実費(材料費)
▽定員　若干名

押花ですてきな作品を

❺健康体操・楽々フィットネス
▽開講日時
①木曜日の午前9時30分～
②金曜日の午前9時30分～
③金曜日の午前10時45分～
※参加はいずれか1コースのみ。
※①②は椅子を使った運動、③は立って行う運動です。
▽指導　智葉ひとみさん
▽受講料(年額)　3000円＋保険料(65歳以上＝1200円／65歳未満＝1850円)
※別途ボール代が必要
※受講料などは一括払いで、途中で退会した場合の返金は行いません。
▽定員　①40人②15人③25人

●各講座共通
▽受講資格　町内在住の人(❹は町内の小学校に通う児童／❺は50歳以上の人)
▽申込方法　うちこ福祉館にある申込書でお申し込みください。(申込多数の場合は抽選)
▽申込期限　3月16日(金)

【申込・問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893(44)3410

「気軽にコミュニティ・カレッジin内子」のお誘い

●日時　3月15日(木)
午後7時～

●場所　内子自治センター

●テーマ　「デザインで、地域を芯から強くする」

●講師　山内敏功(びんこう)さん(松山短期大学講師)

●内容　「デザインシンキング」の手法を使って「芭蕉和紙」を一緒にデザインしましょう。

●対象　高校生以上
※町内外を問わず、どなたでも参加できます。

●受講料　500円

●主催　内子町教育委員会

【問い合わせ】
内子町教育委員会　自治・学習課　自治振興係(内子分庁内)
☎0893(44)2114

＼100円持って、商店街へ行くニャー／

「うちこ100円商店街」

お得で楽しい100円商店街を開きます。商品もイベントも盛りだくさんです。ぜひお越しください。

●日時　3月18日(日)午前11時～午後3時(雨天決行)
※歩行者天国になります。皆さんのご協力をお願いします。

●場所　内子本町商店街

【主催・問い合わせ】
内子まちづくり商店街協同組合
☎0893(44)2066

毎回、多くの人でにぎわう100円商店街

お知らせ

消防署からのお知らせ「地震に対して備える」

私たちが住む愛媛県では、30年以内に70～80㌫の確率で南海トラフ巨大地震が発生すると予測されています。

大きな地震が発生すると家具が倒れ、被害が大きくなります。減災のためには、①タンスや食器棚は突っ張り棒などで転倒を防止する②ベッド周辺には、背の高い家具を置かない③置物の下には滑り止めを敷く――などの備えが必要です。日頃から予防と対策に努め、大切な生命・財産を守りましょう。

【問い合わせ】
内子消防署
☎0893（43）0119

交通災害制度に加入しませんか

交通事故などでけがをして、病院にかかった場合に、見舞金が支払われます。

●**掛け金**　大人＝700円／子ども（平成15年4月2日以降生まれ）＝300円

●**見舞金の支払額**

等級	災害の程度	支払額
1	死亡	100万円
2	治療実日数が200日以上	15万円
3	同100日以上200日未満	12万円
4	同70日以上100日未満	10万円
5	同50日以上70日未満	8万円
6	同30日以上50日未満	6万円
7	同16日以上30日未満	3万円
8	同7日以上16日未満	2万円

※交通事故証明書の提出がない場合の支払額は2分の1。

●**申込方法**　3月中に区の代表者を通じて加入申込書を配布しますので、掛け金を添えて区の取りまとめの人に申し込んでください。

【申込・問い合わせ】
総務課　危機管理班
☎0893（44）6150

補助券を使ってマッサージに行こう

はり・きゅう・あん摩マッサージを受ける人の負担を軽減するため、補助券を交付します。

補助券を町内の指定施術者に提出した上で、差額分をお支払いください。

●**対象年齢**／補助の内容
▽40～64歳／1回　700円
▽65歳以上／1回　1000円
※補助券は1人につき、年度内4枚を限度とします。

●**申請方法**　印鑑を持参し、保健福祉課・内子分庁・小田支所のいずれかで申請

●**申請受付**　3月22日（木）～

●**町内の指定施術者（敬称略）**
《内子地区》山田明／門田浩／山岡愛利／橋本洋三／石丸千鳥／宮内幸子《五十崎地区》小島誠二／中野晴夫／松森弘孝《小田地区》古田勝美

【問い合わせ】
保健福祉課　高齢者福祉係
☎0893（44）6154

美しい桜並木を散策「南楽園外堀桜まつり」

南楽園外堀の桜並木が広がる管理用道路を一般開放します。夜間は投光器やぼんぼりでライトアップを行います。ぜひお越しください。

●**期間**　3月24日（土）～4月8日（日）

●**開園時間**　午前9時～午後5時
※ライトアップは午後6時30分～10時。園内は入れません。

●**場所**　南楽園（宇和島市）

●**入園料**　大人310円／小人150円

【問い合わせ】
南楽園
☎0895（32）3344

お花見をする来園者

高速道路夜間通行止めのお知らせ

◆松山自動車道
《大洲南IC～西予宇和IC》

●**規制日時**　3月26日（月）～4月6日（金）の午後8時～翌朝6時

●**迂回路**　国道56号

※土・日曜日は解除します。

【問い合わせ】
西日本高速道路㈱四国支社
愛媛高速道路事務所
☎089（905）0181

元気で幸せな生涯のお手伝い――「内子町リハビリ有志会」が活動中

「多くの人に住み慣れた場所で自分らしく元気に生きてほしい」という思いで結成した内子町リハビリ有志会。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格を持つ23人が集まり、地域の高齢者の元気のために活動を続けています。

元気で幸せな一生を過ごすためには、年齢・体力にあった運動や、コミュニティの場などが大切です。リハビリに関する講話や体操の指導などができますので、地域で集まるとき、または集まるきっかけづくりをするときにお声掛けください。

●**活動内容**　介護予防の体操、腰痛予防や転倒予防などの講話、サポーター養成講座など

●**申込方法**　まずは連絡先にお電話ください。

※活動はボランティアですが、経費が必要な場合がありますので、ご相談ください。

【連絡先・問い合わせ】
内子町リハビリ有志会（代表中岡、加戸病院内）
☎0893（44）5500

「三浦保」愛基金助成希望団体を募集中

環境保全、自然保護活動の活性化や社会福祉の向上を図るため、皆さんの活動を応援します。

●**募集期限**　3月30日（金）

●**申込方法**　所定の様式を提出

※詳細は愛媛県のホームページをご覧ください。

❑http://www.pref.ehime.jp/h12100/miuratamotsuaikikin/aikikinkoubo.html

【問い合わせ】
○環境保全・自然保護に関すること――県環境政策課
☎089（912）2346
○社会福祉に関すること――県保健福祉課
☎089（912）2383

虐待を見つけたら、すぐに相談窓口へ――

児童や障がい者、高齢者に対する虐待は、ささいなことが積み重なり問題が深刻になる場合があります。

虐待を早期に発見するために、皆さんの協力が必要です。次のようなことに気付いたときは、相談窓口へご連絡ください。

▽子どもの泣き声や大人の怒鳴り声が聞こえる
▽体にあざや傷がある
▽暴言を吐かれている
▽ひげや髪が伸びているなど不衛生な状態で、介護を放棄されている

※連絡した人の情報は守られます。安心してご相談ください。

【問い合わせ・連絡先】
保健福祉課・地域包括支援センター
☎0893（44）6154

多重債務でお悩みの人に

四国財務局では、借金を抱え悩んでいる人のために相談窓口を開設しています。

必要に応じて、弁護士・司法書士などの法律専門家への引継ぎも行いますので、一人で悩まずご相談ください。

●**受付時間**　月～金曜日（祝日と年末年始は除く）の午前9時～正午、午後1時～5時

●**相談方法**　相談は無料。まず電話をいただき、こちらから電話をかけ直します。

【相談・問い合わせ】
四国財務局多重債務者相談窓口
☎087（811）7801

お知らせ

国家公務員採用試験

30年度国家公務員採用試験の概要が発表されました。詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm
【問い合わせ】
人事院四国事務局第二課試験係
☎087（831）4765

家族介護用品支給事業の支給対象者を拡大します

内子町では在宅介護をしている家族の負担軽減などを目的に月1回、紙おむつや尿取りパッドなどを配布しています。
30年4月から支給事業の対象を要介護3の認定者まで拡大しますので、希望する家族は、担当のケアマネージャーか地域包括支援センターにご相談ください。
●対象　要介護3・4・5の認定者を月の半数以上、在宅介護する家族
●申込方法　担当のケアマネージャーを通じて申請書を提出

※申込は随時。配布は申込した月から年度末までです。
●その他　継続して支給を希望する場合も更新申請が必要
【問い合わせ】
内子町地域包括支援センター
☎0893（44）6154

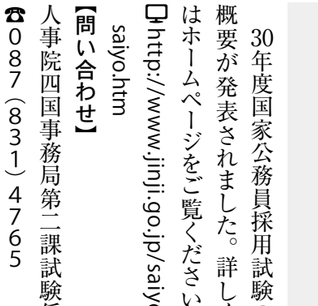
公用車の車検整備が競争入札になります

4月1日から、公用車の車検整備業務の実施事業者を、競争入札で決定します。参加するためには「入札参加資格審査申請書」の提出が必要です。
●入札参加の条件　次の①～③を満たす事業者
①入札参加者名簿に記載されている
②町内に本社か営業所がある
③町内に整備工場があり、運輸局から自動車分解整備事業の認証を受けている
●申請書の受付期間　随時
※申請日の翌月1日に登録
●提出書類　ホームページの「入札情報」をご覧ください。
http://www.town.uchiko.ehime.jp
【問い合わせ】
総務課　管財係
☎0893（44）6150

宝くじ助成で備品を整備 地域活動に活用します

（一財）自治総合センターでは宝くじによる社会貢献の一環として、地域社会の発展と住民福祉の向上を目的に、コミュニティ助成事業を行っています。
内子町では29年度、助成を受けた中川自治会と和太鼓集団「喜鼓里」が、地域活動に必要な備品などを整備しました。
中川自治会は「イチョウまつり」「盆踊り」など地域交流事業に活用する移動かまど・発電機・投光器・拡声器などを購入。和太鼓集団「喜鼓里」は桶胴太鼓の修理と笛などの購入を行い、町内外のイベントなどで活用します。
【問い合わせ】
総務課　政策調整班
☎0893（44）6151

宝くじで整備した備品



フラチナリズム

ワンマンライブin内子2018

凱旋

◀フラチナリズムのギターとして活躍する田村優太さん（大瀬中卒・写真右側）。田村さんの同級生が凱旋ライブを企画しました。

●日時　4月7日（土）午後4時～
※午後3時30分開場
●場所　文化交流センタースバル
●チケット　2,000円（小学生以下は1,000円）※各自治センターで販売
【主催・問い合わせ】
内子町フラチナリズム応援団（事務局・大瀬自治センター内）
☎0893（47）0102

盲導犬の仕事を学んだよ ――盲導犬キャラバンin大瀬――

「盲導犬キャラバン」が1月19日に行われ、（公財）日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターの黒田匠（たくみ）さんとPR犬のヒカが、大瀬小学校と大瀬中学校を訪れました。このキャラバンは毎年、大洲市と内子町の社会福祉協議会が日本盲導犬協会と連携し、福祉教育の一環として開催しています。

黒田さんは子どもたちに視覚障がいのある人の見えにくさや、盲導犬の一生・訓練・役割について説明した後、ヒカと一緒に盲導犬の仕事を実演しました。

「盲導犬の仕事は、障害物・曲がり角・段差を盲導犬ユーザーに教えること。道案内をすることはできないので、困っている姿を見たら声を掛けて」と説明する黒田さん。「目が不自由な人は日本に30万人以上いるのに対し、盲導犬は951頭。視覚障害や盲導犬に対する理解もまだまだ得られていないのが現状。今日学んだことをいろいろな人に伝えてほしい」と子どもたちに課題を投げかけました。

1

3

2

1_中学生に盲導犬の仕事を伝える黒田さん　2_ヒカの役割は盲導犬のPR
3_目隠しをして歩行体験

赤い羽根共同募金のお礼

29年10月1日から行ってきた赤い羽根共同募金運動は、皆さんの温かいご協力により目標の500万円を超える寄付が集まりました。ありがとうございました。

寄付金は、愛媛県共同募金会でまとめられた後、県内の障害福祉施設・児童福祉施設などの社会福祉施設や民間の小規模作業所、社会福祉団体などに配分されます。また、災害見舞金としても役立てられます。

内子町社会福祉協議会には、30年度に一部配分され、自治会配分金事業や内子町社会福祉大会事業などに活用する予定です。今後ともご協力お願いします。

●赤い羽根共同募金運動実績

項目	金額	協力団体など
戸別募金	3,064,240	各自治会
街頭募金	20,854	ボーイスカウト
法人募金	1,516,600	地区社協分会
学校募金	39,641	生徒、児童、園児
職場募金	480,505	町職員、教職員、民生児童委員、社協職員他
その他	34,727	バッジ募金他
合計	5,156,567	

ボーイスカウトによる街頭募金

【問い合わせ】
内子町社会福祉協議会
（内子分庁内）
☎0893（44）3820
http://www.shakyo.or.jp/hp/1486/

放っておくと怖い、睡眠不足

── 睡眠の質を上げる５つの方法 ──

人は寝ている間に体の修復や回復をしていて、睡眠不足になると脳と体の疲労回復が不十分になります。睡眠不足が続くと、うつ病や心臓病、脳卒中などの病気を発症する危険性が高まります。心身の健康を保つためにも質の良い睡眠がとれるよう、睡眠習慣を見直してみませんか。

《ぐっすり眠る５つのアドバイス》

❶**就寝前の刺激物は避ける**……コーヒーや濃いお茶を飲むなら就寝する４時間前までにする。タバコも控える。スマートフォンやパソコンの画面を見るのも眠りを妨げる原因になる。

❷**寝る時間より起きる時間にこだわる**……就寝時間にこだわらず眠くなってから布団へ入り、毎日同じ時間に起きるようにする。

❸**目が覚めたら日光を浴びる**……体内時計のスイッチをリセットし、夜に眠気がくるようにする。

❹**規則的な食事と運動習慣を心がける**……夜の食べすぎは寝つきを悪くし、眠りを妨げる。適度な運動は深い眠りをもたらす。

❺**寝酒は不眠のもと**……アルコールは眠りを浅くする。眠ろうとして飲酒量が増え、アルコール依存症になる危険性も高まる。

※適切な睡眠時間は人それぞれで、日中の眠気で仕事や日中活動に支障がないことが目安です。睡眠薬を服用している人は、自己判断で中止したり、増量して服用したりせず、医師の処方のもと正しく服用しましょう。

保健センターでは随時、睡眠やストレスの悩みについて相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】
地域医療・健康増進センター（保健センター）
☎０８９３（４４）６１５５

4 月の健康カレンダー

●母子保健～すくすく子育て～

育児相談

日	時間	場所	対象
3（火）	午前９時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
5（木）	午前９時30分～11時	五十崎保健センター	
10（火）		内子保健センター	

３歳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
4（水）	午後１時～１時15分	内子保健センター	27年２月・３月生まれ

１歳６カ月児健康診査

日	受付時間	場所	対象
6（金）	午後１時～１時15分	内子保健センター	28年８月・９月生まれ

１歳Ｃｏｍｅかむ教室（虫歯予防教室）

日	受付時間	場所	対象
19（木）	午前９時30分～10時	内子保健センター	29年２月・３月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
12（木）	午前９時15分～９時30分	内子保健センター	29年11月生まれ

●成人保健

30年度転倒予防運動教室参加者募集

教室名	場所	対象者	回数
い喜い喜教室	町民会館	おおむね65歳以上	月２回
はつらつ運動教室	六日市自治会館	65歳以上	
いきがいチェアビクス	大瀬自治センター		
トライ＆トライ教室	小田保健センター		

※各教室への参加を希望する人は、４月13日までに地域医療・健康増進センターにお申し込みください。

【問い合わせ】
地域医療・健康増進センター（保健センター）
☎０８９３（４４）６１５５

人のうごき（敬称略／１月６日～２月５日届出分）

●たかさご

宮田　浩平
徳永　彩可

●うぶごえ ―♣男の子 ♥女の子―

♥中田　希和（和寛・瞳）　本町１
♥大野瑛莉紗（良輔・智江）　鵜川
♣武田　悠希（尚樹・文香）　立川中央
♥山本　愛響（彩加）　上町
♥宮本　紗嘉（勇輝・有紀）　西沖

●おくやみ

清水　房子（73）松尾
大星ミサ子（95）村前
木下　茂幸（83）本町３
河野　義隆（91）上日ノ地
松本ヨシエ（94）立川中央
井上　　洋（90）立川袋口
達見サトリ（93）論田２
中野　武興（82）上町
久保嘉代子（74）中町
上田　吉盛（61）八代
沖見カネヨ（103）八代
中岡　　傳（82）池窪
向井ツマ子（64）川上
松本　達美（89）立石
徳永　　弘（82）東組
森本　金繁（90）小田下

●まちの人口

（30年２月１日現在／（　）内は前月比）

・人口　16,892人　（△35）
　男性　8,087人（△19）
　女性　8,805人（△16）
・世帯数　7,171戸（△15）

●まごころ銀行

皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。
内子町社会福祉協議会

田中　孝一様（内子５）
下岡　信樹様（田中）
中野　重人様（長田）
達見　光信様（論田２）
沖見　　稔様（古田）
中岡　　將様（池窪）
（一般寄付）
内子町ゴルフ協会

4 月の相談日・救急当番医

●年金１日相談

日時：12（木）・26（木）の午前10時～午後３時30分
場所：内子自治センター
※出張相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089（925）5110

●行政相談

日時：10（火）の午前９時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／林業センター
問い合わせ：総務課　☎0893（44）6150

●心配ごと相談

日時：10（火）の午前９時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会　☎0893（44）3820

●人権相談

日時：10（火）の午前９時30分～正午
場所：内子自治センター
問い合わせ：住民課　☎0893（44）6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1（日）	おおむら小児科（内子町）	0893（44）7117
8（日）	守口小児科（八幡浜市）	0894（24）7770
15（日）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894（24）1199
22（日）	大洲ななほしクリニック	0893（25）7710
29（日）	山下小児科（西予市）	0894（62）6801
30（月）	ごとう小児科（大洲市）	0893（23）0510

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター　☎0893（23）1156

診療科目	診療時間
内科	○平日・土曜日：午後８時～11時 ○日曜日・祝日：午前９時～午後６時

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が診察できます。

●救急病院

日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893（24）2151
水	加戸病院	0893（44）5500
木	日中：大洲記念病院	0893（25）2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894（22）3211
金・土・日	大洲中央病院	0893（24）4551